

目次

最新情報.....	1
新機能.....	1
V2.00の追加.....	1
V1.10の追加.....	1
メンテナンス項目.....	2
V2.05の修正.....	2
V2.04の修正.....	2
V2.03の修正.....	2
V2.02の修正.....	2
V2.01の修正.....	2
V2.00の修正.....	2
V1.11の修正.....	2
V1.10の修正.....	3
V1.01の修正.....	3
ファームウェアバージョンの確認.....	4
ファームウェアアップデート手順.....	4

最新情報

本機のファームウェアは、常に最新版をお使いいただきますようお願いいたします。最新のファームウェアに関しては、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) にてご確認ください。

新機能

V2.00の追加

- SDXCカード（～256GB）に対応しました。
- SDカードのERASE FORMATに対応しました。
- SDカード、USBメモリーからのアップデートに対応しました。

V1.10の追加

- サーチ速度が10倍から100倍になる機能を追加しました。
早送り／早戻しサーチ中（◀◀ ボタンまたは▶▶ ボタンを長押し）に、逆方向の◀◀ ボタンまたは▶▶ ボタンを長押しすることでサーチ速度が100倍になります。
- ピークホールド表示時間を任意の時間（1～10秒の間で1秒単位）に設定することが可能になりました。
- メディアへの録音可能時間が残り10分になると、INFOインジケーターが赤く点灯して警告を表示するようになりました。
- メニュー画面の“PLAY FUNC” ページに“PLAY MODE” 項目の設定を追加しました。
- “PLAY MODE” 項目の設定追加に伴い、リピート再生モードを変更しました。

選択肢

ON*

OFF（初期値）

- * “PLAY MODE” 項目の設定にしたがった範囲で繰り返し再生を行います。

- マーク位置への移動やサーチ中に通過したときにマーク情報がポップアップ表示されるようになりました。

選択肢

CONTINUE（初期値）：現在選択中のフォルダーにある再生可能なファイルを全て再生します。

SINGLE：選択中のファイルのみを再生します。

メンテナンス項目

V2.05の修正

- シンク録音機能を“ON”、オートトラック機能の動作モードに“OFF”以外のいずれかを選択して録音を開始した場合に、入力ソースによって録音を再開できなかったり録音したはずのトラックが消えてしまったり、エラーが発生して録音を終了してしまう不具合を修正しました。

V2.04の修正

- 動作の安定性を向上しました。

V2.03の修正

- 複数のメディアが同時に挿入されている状態で電源を入れると、“Media Reading”の表示が消えなくなる場合がある不具合を修正しました。

V2.02の修正

- オートトラック機能の動作モードに“DD”を選択して録音した場合、再生元のCDやMDのトラック番号の切り換わりと録音されたファイルのトラックの区切り位置がずれてしまう不具合を修正しました。

V2.01の修正

- ファイルタイプがDSD (DSDIFF/DSF) の際に、“IN MONITOR”項目を“ON”にするとモニター音にノイズが混入する場合がある不具合を修正しました。
- “INPUT SELECT”画面の設定を“SDIF-3”もしくは“DSD-raw”に選択した際に、異なるサンプリング周波数を受信してもノイズが出力されないように改善しました。
- CFカードを挿入し、本体が“READING MEDIA”を表示している間にCFカードを抜くと、長時間“READING MEDIA”の表示状態から復帰しないことがある不具合を修正しました。
- 動作の安定性を向上しました。

V2.00の修正

- 起動時に“I/O SETTINGS”ページの“IN MONITOR”項目の設定が反映されない不具合を修正しました。
- カスケード再生動作で指定した位置にロケートできない不具合を修正しました。
- RC-10以外の赤外線リモコンの操作を受け付けて誤動作する不具合を修正しました。
- 動作安定性を向上しました。
- 本製品で作成したDSDIFFファイルを、より多くの他社製プレーヤーソフトウェアでも再生できるよう互換性を向上しました。

V1.11の修正

- アナログ入出力レベルが製品の定格に対して、0.5dB以上の誤差が生じていた不具合を修正しました。
- MULTI JOGダイヤルの押し方によってホイールが左右に動き、意図しないメニューに移動することがありましたが、誤動作が起こりにくくなる対策をしました。
- インプットモニター状態（カレントデバイスのメディアが挿入されていないときにRECORDボタンを押す）で、“REC FILE”ページにある設定項目を変更すると音声出力されなくなる不具合を修正しました。本バージョンでは、インプットモニター状態で“REC FILE”ページの設定項目を変更することができなくなります。

V1.10の修正

- AES/EBU接続時に出力側がDual Wire modeの場合、INFOインジケータが赤く点灯して警告を表示するように修正しました。
- 入力信号モニター機能がオンの場合、"REC FILE" ページの"FILE" 項目および "SAMPLE" 項目の設定内容がすぐ動作に反映されるように修正しました。

メモ

- 入力信号モニター機能がオフの場合は、RECORDボタンを押すまで動作に反映されません。
- DA-3000でフォーマットされていないUSBメモリーを挿入すると、"**Formatting not optimal. Format card ? OK=ENTER**" (メディアのフォーマットが推奨外です。フォーマットしますか?) とポップアップ表示していましたが、今回の修正で "**Formatting not optimal.**" (メディアのフォーマットが推奨外です。) を表示するように修正しました。

メモ

- 本機で使用するメディア (USBメモリー、SDカード、CFカード) は、DA-3000でフォーマットしたものをお使いください。
- 64MB以上の音楽ファイルがメディア間でコピーできなかった不具合を修正しました。

- ADDA DIRECTモードがオンの場合、PLAYボタンを押すと "**Cannot play while input monitoring.**" (インプットモニター時には再生できません。) とポップアップ表示されていましたが、今回の修正でPAUSEボタン、◀◀ / ▶▶ ボタン、マークの登録、マークの位置への移動の操作時にもポップアップ表示するように修正しました。
- 外部同期の異常から復旧した場合、リファレンスレベル設定が強制的に-16dBに変更されてしまう不具合を修正しました。
- DSDIFFファイルおよびDSFファイルの再生時 (具体的には、5.6MHzのときは12:41以降、2.8MHzのときは25:21以降) に、USBキーボードによるダイレクトロケートが動作しない不具合を修正しました。
- カスケード接続時に、同期している機器間のホーム画面に表示される1秒未満のカウンタの値が異なっていた不具合を修正しました。
- カスケード接続時に "FILE TYPE" 画面の設定を "DSDIFF" / "DSF" から "WAV-24" / "WAV-16" に変更すると、スレーブ機がマスター機のコマンドを時々受信しなくなる不具合を修正しました。

V1.01の修正

- DSFファイルの再生待機中に、進行方向へのマーク位置への移動ができない不具合を修正しました。
- DSFファイルにJPEGなどのサイズの大きいタグフレーム* があると、タグデータを壊してしまう不具合を修正しました。
* : アルバムジャケット情報などが該当します。
- "INFORMATION" 画面でのファイル情報が更新されない不具合を修正しました。
- DSDフォーマットでの録音 (待機) 時やモニター時にメーターがちらつく不具合を修正しました。
- LATIN-1 (ISO8859) の文字が表示されない不具合を修正しました。
- ディスプレーに表示される文字に非対応文字フォントがある場合、次の文字が前の文字に重なって表示されてしまう不具合を修正しました。

- 半角カナの半濁点が表示されない不具合を修正しました。
- RC-10でのボタン操作の反応を良くしました。
- "Auto Mark" 画面の "Unlock" 項目が "ON" のとき、DSDデジタル入力の録音時に、Unlockしていない状態でマークが付いてしまう不具合を修正しました。
- ADDA DIRECTモードがオンのときに、録音中にマークを付けることができない不具合を修正しました。
- 動作の安定度が向上しました。

ファームウェアバージョンの確認

ファームウェアアップデート作業前に、お手持ちのDA-3000のファームウェアバージョンを確認します。

1. 本体の電源を入れてください。
2. 起動画面の機種名表示“DA-3000”の下側に表示される“Ver.”（ファームウェアバージョン）を確認してください。

ここで表示される“Ver.”が、これからアップデートしようとしているファームウェアバージョンと同じ、または新しい場合はアップデートの必要はありません。

ファームウェアアップデート手順

1. TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) より最新のファームウェアをダウンロードします。ダウンロードを行ったファイルがZIP形式等の圧縮ファイルの場合は解凍してください。
2. ダウンロードしたファームウェアをメディア（CF / SD / USB）のルートディレクトリ（一番上の階層）にコピーしてください。

注意

本体のファームウェアがV2.00よりも前のバージョンの場合は、アップデートにはCFカードしか使用することができません。

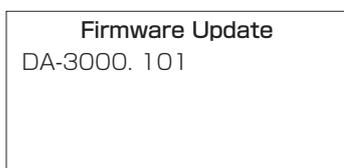
3. 本体に挿入されているメディアを、一旦全て外してください。
 4. 本体の電源がオフの状態、本体のPAUSEボタンとRECORDボタンを押したままPOWERスイッチを押して電源をオンにします。
- 以下の画面が表示されます。



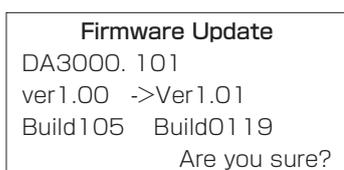
メモ

起動画面を表示後、“Firmware Update”画面が表示されるまでボタンを押したままにしてください。

5. ダウンロードしたファームウェアをコピーしたメディア（CF / SD / USB）を、本体に挿入します。
- 以下の画面が表示されます。



6. MULTI JOGダイヤルを押します。
- 以下の画面が表示されます。



メモ

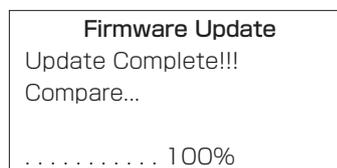
画面は一例で、実際の表示とはことなります。

7. MULTI JOGダイヤルを押して、アップデートが開始します。

注意

- アップデート中は電源を切断しないように注意してください。
- アップデート途中で電源が切断されると、起動できなくなる恐れがあります。

8. アップデートが完了すると、以下の画面が表示されます。



9. 本体のPOWERスイッチを押して、電源を切ります。
10. 「ファームウェアバージョンの確認」を参照して“Ver.”が最新のファームウェアバージョンであることを確認してください。以上で本機のアップデート作業は終了です。
11. メディア（CF / SD / USB）内あるファームウェアアップデート用ファイルを削除してください。